

学生による指導—大学との連携—

地域クラブ活動では、東京都教育委員会が地域連携・地域移行の実現を図るために、連携協力に関する協定を締結した大学から紹介された学生（指導補佐）が指導に携わっています。

今回は、指導者・生徒・指導補佐それぞれへのインタビューを通じて分かった、それぞれの想いや、学生指導補佐ならではの活躍に迫ります！

TOPICS



指導補佐とは？

連携大学から紹介された大学生が**指導者の指導を補助**し、運動部・文化部を問わず地域クラブ活動に参加しています。**将来の地域クラブ活動における指導者育成や教職を志す学生本人にとっても学校現場での貴重な経験を積める側面**があります。

—活動紹介・指導補佐に携わっている学生のご紹介—

今回、立川国際中等教育学校陸上競技の地域クラブ活動取材させていただきました。東京女子体育大学から紹介された指導補佐の渡邊さんには、生徒との関わりの中で大切にされていることなどを伺いました。

教職を志す学生が出会った“地域クラブ活動”

—地域クラブ活動で指導をすることに決めた理由

大学の教職ゼミで声をかけていただき、**自分の専門である投擲（やり投げ）を生かせる場**でもありましたし、来年度から教員となることを踏まえて、**生徒と関わる経験ができるのはとてもありがたい**と思い、参加を決めました。



立川国際中等教育学校地域クラブ活動陸上競技クラブ 指導補佐 渡邊さん
 現在東京女子体育大学4年生。来年度教員志望。
 高校から投擲（やり投げ）を専門的に始め、その競技歴を生かし、指導補佐として活躍中！



ミーティング風景

—活動中での役割を教えてください。

指導者の佐藤さんや草薙さんが中心になって考えてくださっている練習メニューを基に、**私は補強運動や体幹トレーニングの指導、練習中のサポート**をしています。自分の陸上競技の経験を生かして、**練習メニューの提案**をすることもあります。



練習メニューを指導者から確認している様子

—練習中に音楽が流れているのが印象的でした。

音楽は私が高校生の頃からモチベーションを上げるために大事にしていました。少しでも楽しい雰囲気練習に取り組めるように工夫しています。

生徒たちからリクエストをもらって、流せる曲はできるだけ流しています。**筋トレの時間も、音楽があると自然と明るくなって、みんな「うわー！」**とか言いながら楽しそうにやってくれます。そういう反応があると、私も嬉しくなります。

指導補佐として、**新しいアイデアを提案し練習に取り入れたこと**で、活動にはこれまでにない新しい風が吹き込みました。

学童のスタッフや高校の外部コーチとしての経験はあったものの、中学生と関わるのは今回が初めてという渡邊さん。持ち前の明るさと高いコミュニケーション力を発揮し、楽しそうに指導へ向き合う姿がとても印象的でした。



階段でのきついつトレーニングをこなす生徒たち

次頁もインタビュー、さらに深掘していきます！

生徒の感覚に寄り添うということ

——生徒との関わりで、特に意識していることはありますか？

一番大切にしているのは、「生徒の声を聞くこと」です。練習の後には「今のどうだった？」「どんな感じだった？」と、まず生徒の感覚を聞くようにしています。

私自身、自分の“やり投げ”について悩んだ時期があり、指導者の言うことと自分の感覚が合わずに混乱した経験がありました。だからこそ、**生徒の感じていることを大事にしたい**と思っています。**決めつけずに、まずは耳を傾けること**。それが、**信頼関係の第一歩**だと思っています。



生徒の声を大切にしながら指導をしている渡邊さん



生徒を見守り指導する渡邊さん

接し方の引き出しを増やすことは 今後の自分にとって大切なこと

——地域クラブ活動の指導補佐をやってみて学んだことは？

地域クラブ活動での指導を通して、**様々なタイプの生徒と関わることができたのも大きな学び**でした。どこで伸びるか、どこでつまづくかは人それぞれ。だからこそ、**接し方の引き出しを増やしていくことが、これからの自分にとって大切だ**と感じています。

——指導者、生徒からの声——

渡邊さんは明るく気さくな方で、生徒と近い立場に立った指導をしてくださっています。**専門種目ごとに的確な指導ができるようになったことで、指導者が常に巡回する必要がなくなり、活動をより効率的かつ有意義に実施することができています。**

また、女性指導者として女子生徒への対応にも積極的に関わっていただき、現場として大変心強く感じています。

私たち指導者の指導方針や方法も柔軟に受け入れ、円滑に指導をサポートしてくださっています。



陸上競技クラブ 指導者
草薙さん（左）

当活動には現在、投擲を専門的に指導できる人材がおらず、まさに求めていた存在でした。**現役世代ならではの新しい視点での練習メニューへのアドバイス**に加え、生徒との年齢の近さと明るい人柄を生かし、**生徒目線に立った関わり方で信頼関係を築いて**くれています。そのため、生徒からの人気も高く、練習への意欲向上にも大きく貢献しています。

指導補佐として現場に入っていたことで、**私自身も新しい視点や学びを得ることができ、指導の幅が広がりました。**

陸上競技クラブ 指導者
佐藤さん（右）※現陸上競技部顧問



- ・ポジティブに励ましながら必要な追い込みをしていただき、辛かった筋トレが楽しくなりました！
- ・投擲の専門的な指導を受けることができ、とてもありがたかった。
- ・気さくに話しかけてくださり、友達のような感覚で相談しやすいのが大変助かりました！

参加生徒のみなさん

この度は取材にご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございました！この場を借りて御礼を申し上げます。この地域クラブ活動での経験を生かして、今後の渡邊さんのご活躍を楽しみにしております！

編集後記

今回は、「学生による指導補佐」をテーマとしてお届けしました。皆様からの今号の地域クラブ活動通信のご感想や、今後特集して欲しいテーマ・内容等のご意見をお教えいただけますと幸いです。

回答はコチラから▶▶ <https://forms.office.com/r/aJhmPEdJcd>

